日本結核病学会北陸支部学会

—— 第76回総会演説抄録 ——

平成22年5月29·30日 於 金沢医科大学病院4階講義室(石川県内灘町)

/ 第65回日本呼吸器学会 第50回日本呼吸器内視鏡学会 と合同開催 、第35回日本サルコイドーシス学会

集会長 佐久間 勉(金沢医科大学呼吸器外科)

—— 一 般 演 題 ——

1. 拡大する巨大空洞影を呈した M. kansasii 症の 1 例 ° 高戸葉月・早稲田優子・犬塚賀奈子・酒井珠美・渡辺知志・池田英子・酒井麻夫・徳田 麗・大倉徳幸・曽根 崇・上田暁子・阿保未来・片山伸幸・笠原寿郎・藤村政樹(金沢大医附属病呼吸器内)

26歳男性。2009年4月肺炎にて近医より紹介。胸部CT上左下葉に広範なスリガラス斑状影,空洞影を認め、KL-6とSP-Dが高値であった。NQにて炎症反応と症状は改善したが、陰影は悪化しBFを施行、TBLBでは類上皮肉芽腫が検出された。空洞影は融合し拡大、診断のため VATS を施行、組織培養から M. kansasii が検出された。進行する空洞影では NTM、特に M. kansasii を考える必要がある。

2. 大腸癌化学療法中に発症した肺 M. kansasii 症の 1

例 °神原健太・三輪敏郎・正木康晶・岡澤成祐・猪 俣峰彦・今西信悟・市川智巳・鈴木健介・山田 徹・林 龍二・戸邊一之(富山大付属病第一内)梶浦新也・ 細川 歩(同第三内)清水重喜・福岡順也(同病理, 外科病理学)菓子井達彦(同がん治療部)松井祥子(富 山大保健管理センター)

55歳男性。S状結腸癌肝肺転移にて、S状結腸切除術後、2008年12月よりmFOLFOX6/BVを計23コース施行、骨髄抑制は認めず、治療効果はPRであった。2009年8月頃より、右上葉の結節を生じ、徐々に増大、内部に空洞を伴うようになった。採血では炎症所見なく、喀痰抗酸菌塗抹陰性であった。PETにてSUV10と異常集積あり、気管支鏡にて抗酸菌塗抹陽性、DDH法にてM.kansasiiと診断された。